

4 ふるさと・キャリア教育

| 具体的な内容 | | 自己評価A | 学校関係者評価 | 学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント | | |
|--|----|-------------------------------|---------|---|--|--|
| ふるさと鹿角(平元)のよさを知り、ふるさとでたくましく生きようとする夢や希望をもっている | 前期 | おおむね良好 | おおむね良好 | 「かがやき集会」では、学年の発達段階に応じたまとめ方、発表の仕方がなされていた。体験を生かすこと、社会科や理科、国語科などと関連付けながら進めること、考えをはっきりと言えようにすること、自分の将来像を導くことを今後も大事にしてほしい。また、本校の特色ある、年間を通じた継続的な取組であるアップル活動は素晴らしいが、マンネリ化しないようにするとともに、インタビューの仕方、人との関わらせ方、コミュニケーションの取り方等を学ばせてほしい。 | | |
| | 年度 | おおむね良好 | | | | |
| 評価指標 | | 主な取り組み | | | | |
| ⑦郷土愛に満ちた児童の育成 | | かがやきタイムの充実、地域素材の積極的活用、学習成果の発信 | | | | |
| ⑧キャリアに関する基礎的・汎用的能力の育成 | | 人間関係形成能力・課題対応能力の育成、将来の「夢・希望」 | | | | |
| | | | | 自己評価B 前期 年度 | | |
| ⑦郷土愛に満ちた児童の育成 | | 4 4 | | | | |
| ⑧キャリアに関する基礎的・汎用的能力の育成 | | 3 3 | | | | |

【前期→後期】

- ⑦ アップル活動では、季節に応じて受粉、摘果、袋がけとペア学年で協力しながら活動することができた。回を重ねる毎に手際もよくなり、特に上学期は下学期の世話をよくできるようになっている。下学期も来年度はぜひ下の学年の世話をしたいと感想をもつことができた。また、各学年のテーマ活動では米作り、果樹センター見学、北限の桃を使ったお菓子作りなど、地元に目を向けた活動を意欲的に行うことができた。
- ⑧ 5年生の夢の教室や地域での清掃等のボランティア活動などで、キャリア教育で付けたい基礎的・汎用的能力の育成を図ってきた。また、将来の夢をカードに書いて掲げることで、夢や希望をもって努力する気持ちを高めてきた。今後も、全教育活動を通じて、自己有用感を高めるよう手を尽くしていきたい。

学校の改善策

【後期→次年度】

- ⑦ ボランティアの方々をはじめ、たくさんの協力を得ながら活動をすることができた。アップル活動では、販売やパイづくり、プレゼントなど、誰が担当することになんでも確実に行えるように、進め方などについて引継ぎ資料(マニュアル)を作つて残していきたい。平元小学校独自の活動が充実している反面、さらに効果的に実施していくよう、時間の設定の仕方等を工夫していく。今後も、教職員間、地域の方々との連絡調整をしっかりと図っていきたい。
- ⑧ 体験して終わりではなく、「キャリア教育の重点目標」やかがやきタイムの「育てたい力」をしっかりと意識した取組をこれからも続けていきたい。その意味からも、4・5年生の販売体験などはよかったです。低学年のまち探検、社会科見学や校外学習の内容もよかったです。「あきたの子ども文化体験促進事業」は、できれば来年度も取り組んでいきたい。

【各種データ】

| 児童アンケート | 前期 | | 後期 | |
|-----------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| | 平均 | 肯定率 | 平均 | 肯定率 |
| ⑦ アップル活動や地域とかかわる学習に積極的に取り組んでいますか。 | 3.8 | 100 | 3.8 | 97 |

| 職員個人評価 | 前期 | | 後期 | |
|---------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| | 平均 | 肯定率 | 平均 | 肯定率 |
| ⑦ かがやきタイムの充実 地域素材の積極的活用 学習成果の発信 | 3.3 | 100 | 3.4 | 100 |
| ⑧ 人間関係形成能力・課題対応能力の育成 将来の「夢・希望」 | 2.7 | 73 | 3.0 | 91 |

| かがやきタイムに関する児童アンケート(3~6年) | H27 | | H28 | |
|----------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| | 平均 | 肯定率 | 平均 | 肯定率 |
| 1 作文や図や表・グラフなどを書いて伝えること | 3.3 | 86 | 3.3 | 91 |
| 2 自分の気持や考えなどを話して伝えること | 3.3 | 82 | 3.2 | 91 |
| 3 質問したり、インタビューしたり、呼びかけたりすること | 3.2 | 86 | 3.1 | 76 |
| 4 計画を立て、進んで行動すること | 3.4 | 93 | 3.3 | 87 |
| 5 友だちの意見や考えを聞いたり、話し合ったりすること | 3.6 | 98 | 3.4 | 93 |
| 6 友だちや他の学年の人と協力して活動すること | 3.8 | 98 | 3.7 | 93 |
| 7 疑問に思ったことを調べたり、よりよい方法を工夫したりすること | 3.3 | 93 | 3.2 | 87 |
| 8 自分の活動を振り返り、次の活動に生かすこと | 3.4 | 93 | 3.3 | 89 |
| 9 働くことの大切さを考えること | 3.5 | 89 | 3.5 | 91 |
| 10 自分の将来の生き方を考えること | 3.5 | 89 | 3.3 | 82 |

| 自己評価A及び外部評価の評価区分 |
|------------------|
| ○きわめて良好 |
| ○良好 |
| ○おおむね良好 |
| ○やや不十分 |
| ○努力を要する |

| 自己評価Bの評価基準 |
|--|
| 5 実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上 |
| 4 実現状況は良好で意欲もある／達成率80~90%、前年度比103~107% |
| 3 実現状況は概ね良好／達成率60~79%、前年度比98~102% |
| 2 実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50~59%、前年度比93~97% |
| 1 実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下 |